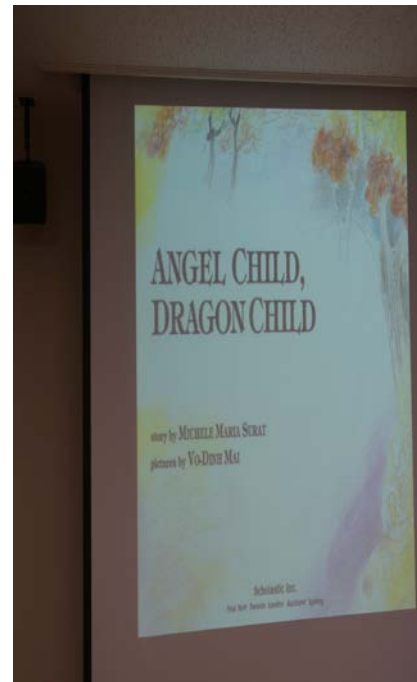


変動する学校と道徳・人権教育

6月4日（土）に「現代的学校教育の課題解決シリーズ 2016」の学び合う仲間による教員研修リレー講座の第3回が行われました。今回は、山形大学准教授の木村松子（ジェンダー論）先生による、「変動する学校と道徳・人権教育」と題して、アメリカの絵本を使用した「いじめ問題」の対処方法に関して、ナラティブアプローチを中心にした学び合いが展開されました。分かりやすく日本語訳された絵本の内容は、日本の対処方法とは異なり、とても新鮮なものでした。



<参加者の感想から>

- 講義の時間に合わせて、テーマを絞ってくださっていたので、とても理解しやすかった。先生の他の研究（LGBTなど）にも興味をもちました。3年生の1学期を6年1学期として解釈したら理想的な人間関係と言えるのか等考えていました。
- 道徳におけるナラティブアプローチの方法を初めて耳にしました。とても新鮮な内容でさらに自分で勉強を深めていきたいと思いました。
- 道徳のみにかかわらず、「語り」の有用性や有効性についての理解を深めることができました。日々の授業において、内容を指導しなければならないことにとらわれて、子供たちに語らせることが十分にできていたか、今一度自分の指導を振り返る良い機会となりました。
- 道徳の評価という点で話し合いがあり、現場に迫ってきている問題を身近に感じることができました。子どもの普段の姿、成長を手助けできるような評価となることが望ましいと感じました。よりよいクラスへの問題意識を持った教師としての態度が試されているように感じました。